

横浜市内の企業さま向け電気料金プラン
「はまっこ電気」第二期・「はまっこ電気 Plus」の販売を開始
～横浜市内の 17 社の企業さまにご加入いただきました～

2024 年 4 月 23 日
東京電力エナジーパートナー株式会社

当社は、横浜市内における環境施策「Zero Carbon Yokohama^{※1}」の推進に寄与していくこと等を目的として、2021 年 11 月 1 日から横浜市内の企業さま向けに「はまっこ電気^{※2}」を販売しております(2021 年 10 月 29 日お知らせ済み)。第一期(2021 年 11 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)は、横浜市内の 18 社の企業さまにご加入いただき、CO₂ 排出量を約 39,000 t-CO₂ 削減することができました。

このたび、「はまっこ電気」の第二期販売を 2024 年 4 月 1 日から開始するとともに、新たに RE100 に対応するメニューとして、横浜市が再生可能エネルギー(以下、「再エネ」)に関する連携協定を締結している自治体^{※3}に立地する再エネ電源由来の環境価値を活用した「はまっこ電気 Plus^{※4}」の販売を開始しました。

本日、「はまっこ電気」および「はまっこ電気 Plus」をご利用いただく横浜市内の 17 社の企業さまに対し、横浜市長による感謝状贈呈式を実施しましたので、お知らせいたします。

<はまっこ電気・はまっこ電気 Plus をご利用いただく横浜市内の企業さま>
(50 音順、敬称略)

はまっこ電気	
エヌ・ケイ・テクノ株式会社 ^{※5}	川本工業株式会社 ^{※5}
株式会社関電工 神奈川支店 ^{※5}	相模鉄道株式会社 ^{※5}
泉陽興業株式会社 ^{※5}	株式会社相鉄アーバンクリエイツ
大成建設株式会社 横浜支店	東電同窓電気株式会社 ^{※5}
株式会社八千代ポトリ ^{※5}	横浜高速鉄道株式会社 ^{※5}
横浜信用金庫 ^{※5}	株式会社横浜八景島 ^{※5}
横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ (相鉄ホテル株式会社) ^{※6}	

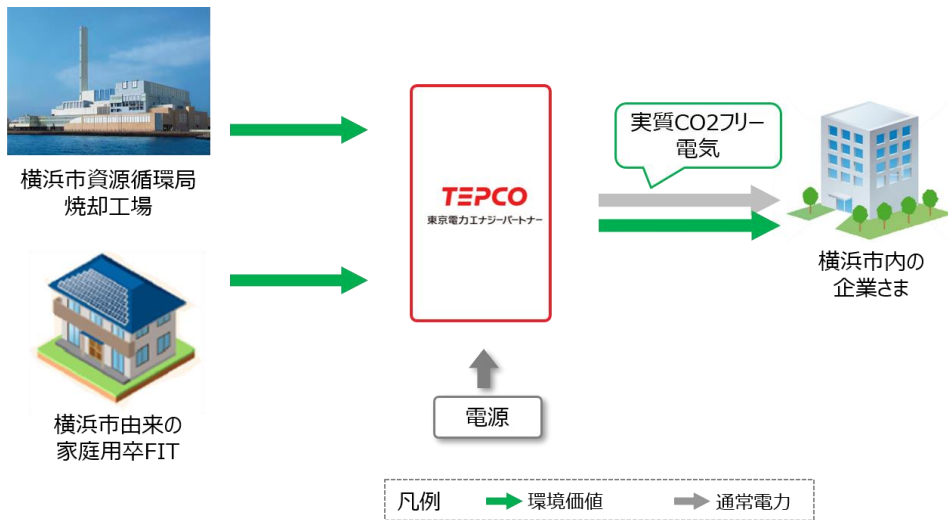
はまっこ電気 Plus	
学校法人神奈川大学 ^{※7}	野村不動産熱供給株式会社 ^{※7}
三菱地所株式会社 横浜ランドマークタワー ^{※7}	株式会社村田製作所 ^{※7}
横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ (相鉄ホテル株式会社) ^{※6}	

<感謝状贈呈式の様子>

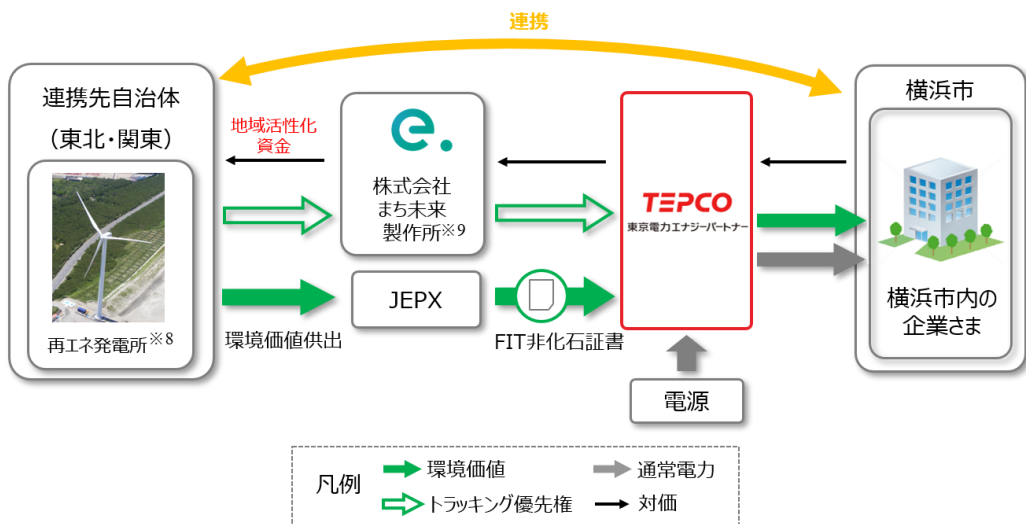


- ・1列目右3番目から、茨城県神栖市 石田 進 市長、株式会社まち未来製作所 青山 英明代表取締役 CEO、横浜市 山中 竹春 市長、東京電力エナジーパートナー株式会社 代表取締役社長 長崎 桃子、岩手県 洋野町 岡本 正善 町長
- ・上記以外：はまっこ電気・はまっこ電気Plusをご利用いただく横浜市内の企業さま

<はまっこ電気の仕組み>



<はまっこ電気Plusの仕組み>



<はまっこ電気・はまっこ電気 Plus の概要>

プラン名称	はまっこ電気	はまっこ電気 Plus
対象のお客さま	横浜市産の環境価値を活用したい企業さま	RE100 に対応した環境価値を活用したい企業さま
加入条件	当社と特別高圧もしくは高圧でご契約いただいている、横浜市内の事業者さまで、原則として、年間使用電力量の 10%以上または 100 万 kWh 以上でお申し込みいただける契約電力が 500kW 以上の企業さま	
提供開始時期	2021 年 11 月 1 日	2024 年 4 月 1 日
料金単価	ご契約いただいている電気料金に、環境価値分を加算	
契約期間	原則 1 年間	

当社は今後も地域と連携し、地域の再エネから産み出される環境価値を、最適にお客さまへお届けしていくことで、地域のカーボンニュートラルの推進に積極的に取り組んでまいります。

以上

- ※1 横浜市は「2050 年までの脱炭素化（温室効果ガス実質排出ゼロ）」を温暖化対策の目指す姿（ゴール）とし、それを表す言葉
- ※2 横浜市資源循環局が保有する鶴見・都筑の各ごみ焼却工場におけるバイオマス発電由来の環境価値や、当社が調達している横浜市内の家庭用卒 FIT 太陽光発電由来の環境価値を有する電力をご提供するプラン
- ※3 東北・関東の 5 県 16 市町村（青森県横浜町、秋田県八峰町・大潟村・湯沢市、岩手県久慈市・二戸市・葛巻町・普代村・軽米町・野田村・九戸村・洋野町・一戸町、福島県会津若松市・郡山市・茨城県神栖市）
- ※4 世界で影響力の大きい企業が事業で使用する電力の再エネ 100%化にコミットする国際的な協働イニシアティブ「RE100」は、2022 年 10 月 24 日に「技術要件（Technical Criteria）」が改訂され、再エネ調達の追加要件として、2024 年 1 月以降、「運転開始後 15 年以内の電源」からの調達が必要となります。はまっこ電気 Plus は、横浜市と連携協定を締結している自治体の再エネ発電所（運転開始後 15 年以内）由来の環境価値を活用いたします
- ※5 はまっこ電気に、第一期から継続してご契約いただいている企業さま
- ※6 はまっこ電気に、第一期から継続してご契約いただき、今回新たに、はまっこ電気 Plus にご契約いただいた企業さま
- ※7 はまっこ電気からはまっこ電気 Plus へご契約をお切り替えいただいた企業さま
- ※8 写真は波崎未来エネルギー「なみまる」（茨城県神栖市）
- ※9 （株）まち未来製作所（神奈川県横浜市）は、再エネ電力の売買仲介・コンサルを手掛け、地域を再生する再生可能エネルギー“地域再エネ”の地産地消と都市間流通による地域活性化を実現するアグリゲーションサービス「e. CYCLE(いいサイクル)」を展開